

12月4日 静岡市にて現場点検講習会を実施しました

1. 概要

静岡県内の道路インフラは、高度経済成長期から集中的に整備されており、今後急速に老朽化していくことが想定されます。国・地方とも厳しい財政状況の中、老朽化した道路インフラの補修や更新を確実に実施していくことが重要な課題となっています。

このような状況の中、市町では、技術者の不足や、点検業務が進まないといった課題が顕在化しています。

静岡県道路メンテナンス会議では、自治体の職員のこのような課題に対して橋梁の点検実務について市町が管理する橋梁を対象とした現場点検講習会を各地区で開催しています。

このたび、中部地域部会では、自治体の職員が自ら、現地で体験、実感し橋梁点検を行なえるような第3回目の現場点検講習会を開催しましたので、ご紹介します。

○日 時：平成26年12月4日(木) 10:00～17:00

○場 所：静岡市清水区(向山橋(RC橋))

○参加者：静岡市、富士市、牧ノ原市の3市の自治体職員、道路公社、静岡国道事務所 合計21名

○その他：現場点検講習会に先立ち、10:00～静岡国道事務所会議室にて「橋梁・トンネル点検の実務におけるポイント」について学びました。

2. 講習会の様子



座学の様子



橋面の点検状況



梯子を使用しての点検状況(梁部)

<参加された方々の感想>

- ・実際に行くと音が浮いているところとそうでないところで全然違うのがよく分かった。
- ・実際に脚立に乗りコンクリートのたたき、写真撮影を行い、分からない所は技術者の方にすぐに聞くことができとても参考になった研修である。職場に戻り、是非参考にしていきたい。
- ・補修工法対応についても説明があるとさらに良いと思いました。
- ・点検結果を踏まえた評価まで教えてほしい。

3. 報道

建通新聞に掲載されました。